

第二十五回帝國議會  
衆議院

# 砂鑛法案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治四十二年二月二十三日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

大井 卜新君

柏原 佐源太君

荒谷 桂吉君

橋本 次六君

世良 靜一君

根岸 晴太郎君

市田 兵七君

丹尾 賴馬君

大西 五一郎君

武滿 義雄君

豐増 龍次郎君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省參事官 織田 一君

農商務省鑛山局長 磯部 正春君

砂鑛法案

○委員長(大井卜新君) 是ヨリ開會致シマス、砂鑛法案ヲ議題ト致シマス

○武滿義雄君 私ハ第九條ニ於テ質問ヲシタイノデゴザイマスガ——順序ヲ經ナイデモ宜カラウト考ヘマス、是ハ以前ノ會ノ時モ御尋致シタノデアツテ、其質問應答半パニシテ私が用ガアツテ退イタカラシテ、重ネテ御尋致シマス、此砂鑛ヲ出願スル場合ニハ其出願書ヲ提出致シマスル前ニ、砂鑛處在地ノ土地所有權者ノ承諾書ヲ得テ、ソレヲ添付シテ出願シナケレバナラヌコトニナツテ居ル、是ハ砂鑛業發展ノ上ニ非常ニ妨害アル規定ト私ハ考ヘル、申上ゲルマデモナク當局者モ十分ニ實際上ノコトハ御分リニナツテ居ル筈ト考ヘマスガ、偶、砂鑛ヲ發見シテモ其土地所有權者ノ一人若クハ多人數ニ亙ツテ居ル場合ハ——又一個人デモ宜シイガ、其承諾書ヲ得ルト云フコトハナカク容易デナイ、甲ノ人ハ承諾ヲ與ヘテモ乙ノ人ハ之ヲ拒ム、斯ウ云フコトニナルト其間ニ餘計ノ時日ヲ費スノミナラズ、或ハ其土地ヲ持ツテ居ルモノガ發見者ニ先ツテ出願スルト云フヤウナコトニナルト云フ、偶、砂鑛業ニ熱心ニ從事スル者ガアツテ、非常ニ其發達ヲ計ラント熱心シテ居ル者デモ、土地所有權者ニ妨ケラレテ發見ノ事柄ハ全ク水泡ニ屬シ、或ハ土地所有權者ニ奪ハル、ト云フコトが出来ル、縱シ一步ヲ讓ツテ奪ハル、コトハ宜イシテモ、土地所有權者ハ利慾ト云フ考ガ専ラデアツテ、此砂鑛業ニ餘リ熱心デナイノデ、ドウカ斯ウカ苦情ヲ言ツテ實業家カラ金デモ取ラウト云フノガ十中八九デスカラ、砂鑛業ト云フ考ハ第二第二ニ置イタルノデアアル、サウ云フ實業ニ不熱心ノ者ノタメニ妨ケラレ、又ハ此許可權ヲサウ云フ者ニ得セシムルノハ砂鑛業發達上大ニ不都合ト考ヘルガ、斯ノ如キ實際上ノ事實理由ガアルトシテモ、第九條ノ如キ規定ヲ設ケナケレバ、砂鑛業ノ取扱上及ビ本業發達ノ上ニ宜シクナイト云フ御考デアリマスガ、其點ヲ確メテ置キタイ、ソレガ第一問デアリマス、第二ニハ九條ノ二項ニ土地所有權者ハ命令ノ定ムル期間内ニ於テ自ラ砂鑛權ノ出願ヲナスコトノ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得スルアルガ、此砂鑛權ノ出願ヲナス場合ニ所有權者ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌト云フ優先權ヲ與ヘテ居ルト云フノハ、甚ダ宜クナイト云フ考デアルニモ拘ラズ、當局者ハ土地所有權者ニハ優先權ヲ與ヘナケレバナ

ラヌ必要ヲ認メテ居ルノハ、是ハ甚ダ不可思議ノ至リニ堪ヘヌノデアアル、或場所ニ砂鑛ガアル、ソレガ一人ノ所有地デアレバ宜シイガ、或ハ五六人トカ數十人ト云フ所有ノ土地ニ、砂鑛ガアルト假定スルト、ソレガ聯合シテ砂鑛ノ發達ト云フコトニ、僥倖ニモ其結果ヲ舉ゲルヤウニ力ヲ協ハセテ共同一致ノ事業ヲ、營ムコトが出来ルヤ否ヤ是ハ疑ハシ、寧ろ出来ヌト思フ、或者ハ事業ニ著手シ或者ハ事業ニ著手セヌ、或ハ承諾ヲ拒ンダマ、願書ヲ出サヌト云フヤウナ態度ニ出デテ、一致シテ熱心ニ聯合ノ步調ヲ執ツテ出願シテ、許可ヲ取ツテ熱心ニ事業ニ著手スルト云フコトハ期セラレヌ、唯苦情ヲ並ビテ發見者カラ金ヲ取ラウトカ、或條件ノ下ニ利慾ヲ逞ウスルト云フモノガ百中九十九人迄サウ云フモノデアアル、ソレハ當局者ハ既ニ御熟知ノコト、思フガ、ソレニハ御考ガ及バナカッタノデアリマスカドウカ、又砂鑛ハ國ノ所有地アルト考ヘテ居ルカ、又ハ土地所有權者ノ所有ト考ヘラレルカ、言フコトデモナク是ハ國ノ所有地アル、サウシテ一ツノ物件トシナケレバナラヌト思フ、既ニ其通りナラバ彼ノ鑛業法ニ規定シテアル方針ニ基イテ、ヤハリ此法律モ規定シテナケレバナラヌト思フ、鑛業法ニハ土地所有權者ノ承諾ヲ得ナイデモ、土中ニアル鑛物ノ探掘試掘ノ許可ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ルカラ、ヤハリ是モ國ノ所有ト云フ以上ハ、砂鑛業ノ發達上鑛業ト共ニ發達セシメントスルニハ、其土地所有權者ノ承諾書ヲ得ナイデモ出願サセテ、其者ニ許可ヲ與ヘルガ適當ノ方針ト思ヒマスノミナラズ、此土地所有權者ニ優先權ヲ與ヘルト云フコトハ宜シクナイ、夫是考ヘルト此第九條ハ砂鑛業ニ妨害ガアツテモ少シモ裨益ナイト考ヘルノデアリマス、以上質問ノ項ヲ分ツト二ツノヤウデアリマスガ、初メカラ順次ニ御答ヲ得タイト思ヒマス

○政府委員(磯部正春君) 唯今武滿君カラノ御質問デアリマスガ、順序上第三ノ方カラ御話シタ方ガ却テ御分リト思ヒマスカラ、第三ノ點カラ御答シテ參リマスガ、今日マデノ砂鑛採取法ニ依リマス、採取料ヲ土地所有權者ニ採掘ヲナスモノガ拂フコトニナツテ居リマス、採取料ハ如何ナル料金デアルト云フ、砂鑛採取法ノ上カラ言フ土地ノ中カラ砂鑛ヲ取ル料金ヲ拂フノデアアル、砂鑛ノ代價ヲ出スノデアアルト云フ意味ニナルノデ、此砂鑛法ノ中ニ明カニ砂鑛ト云フモノハ土地所有權者ノモノデアルト云フコトハ書イテハゴザイマセヌガ、ドウシテモ土地所有權者ノ所有權ニ附隨シテ居ルモノデアツテ、鑛業法ノ如キ、鑛物ガ國ノ所有地アルト云フ意味ノ反對ニ解セラレルノデアリマス、故ニ砂鑛ハ國ノ所有地アルト云フコトハ頭ニ入レテ居リマセヌ、寧ろ何レカト言ヘバ土地所有權者ノ所有地アルト云フ根柢カラ此法案ハ組立テアリマスノデ、採取ノ如キモ砂鑛ヲ取ル料金ヲ含ンデ居リ、鑛業法トハ立方ガ違フテ居ルノデアリマス、從テ第九條ノ如キ土地所有權者ニ優先權ヲ與ヘテ、土地所有權者ガ自分デ採取スルト云フ時分ニハ、自分ノ土地ノモノヲ取ルノデアリマスカラ、土地所有權者ニ優先權ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ規定ニナツテ居ルノデ、斯ノ如クシタノハ全ク今日マデノ砂鑛採取法ノ精神ヲ汲ンデ其儘規定シタノデ、鑛業法トハ違フテ居リマス、從テ砂鑛採取業ノ發達上如何ト云フ御質問ニ對シテハ、御說ノ通り土地所有權以外ニ離レテ、何人タリトモ發見者ガ取レルト云フコトニスル、恰

モ彼ノ鑛業法ニ於テ土地所有權ヲ認メテ居ラヌト云フ方法ニ依ツタ方ガ、砂鑛採取業ノ獎勵發達上ニハ宜カラウ、即チ唯今武漢サシノ御話ノ方ガ宜カラウト思フ、併ナガラ今日マデ法律上テ土地所有者ノ優先權ヲ認メテ居ルニ拘ラズ、此法律更ニ土地所有者ノ權利ヲ制限スルコトナリマスノデ、實ハ其點ヲ憚リテ、從來ノ主義ヲ襲踏シタノデゴザイマス、一、二ト分ケテ御尋ネデゴザイマシタガ、唯今マデノ御答デ趣意ノアルトコロハ御分リニナツタラウト思ヒマス

○豐増龍次郎君 私ハ他ノ方ニ段々質問モゴザイマシテ、實ハ九條ニ付テハ修正ノ際私ハ全部削除シタイト云フ意見ヲ有シテ居リマスノデ、今日此九條ニ付テ新ニ質問ヲ提出シタクナイ積リデゴザイマシタケレドモ、唯今ノ政府委員ノ御説明ニ依ツテ見マスルト云フト、此本案ノ趣意ト非常ニ私ハ違ツタコトナリハセヌカト思フ、ト申シマスルモノハ唯今ノ御説明ニ依ルト、砂鑛ハ國ノ所有デナイ、所有權ノ一部デアッテ土地ノ所有者ニ屬シテ居ルモノデアル、斯ウ云フヤウナ御答デゴザイマシタガ、是ハ抑々本案ノ真正趣旨デアルカドウカ、言フマデモナク此本案ハ其二十三條ニ依テ鑛業法ノ第十五條ヲ準用シテゴザイマス、鑛業法ノ第十五條ニハドウ云フ規定ニナツテ居ルカト申シマス、鑛業權ヲ物權トシテ不動產ニ關スル規定ヲ準用スト斯ウナツテ居ル、即チ明ニ此砂鑛權ト云フモノハ鑛業權ト同一ニ、土地所有權以外一種ノ物權ヲ設定シタモノデアル、從ツテ此砂鑛權ヲ有スルモノハ、即チ此國家ノ許可ニ依テ或鑛區ノ砂鑛ヲ採掘スル權利ヲ有シテ居ル、既ニ國家ハ或鑛區ノ砂鑛ヲ採掘ヲ、其出願人ニ許可スル權利ヲ有スルノハ、即チ此土地ノ所有權ノ權利ニ屬セナイモノデナクテハ國家ハ許可スコトガ出來ナイ、若シ土地所有權ノ一部デアルト云フコトナラバ、國家ハ公用土地徵收ニ依ラズシテ、他人ノ所有權ヲ侵害シ、之ヲ他人ノ出願者ニ與ヘルコトナリ甚ダ不法ノコトナル、然ルニ本法ハ之ヲ許シテ居ル、出願人ニ許スノガ原則デアル、從ツテ本法ノ精神ト云フモノハ、唯今ノ御説明ガアルニ拘ラズ、此二十三條ノ規程ニ依テ見マシテ、即チ一種ノ物權ト認メラレタ點、并ニ國家ガ其砂鑛ヲ採掘スル權利ヲ出願者ニ與ヘルト云フ點カラ申シマシタ所デ、砂鑛其モノハ採掘セザル以前ハ、ヤハリ所有權ノ一部デナクテ國家ニ屬スルモノデアル、又國家ハ自己ノ權利ニ屬スルモノヲ或出願者ニ之ヲ特許スルモノデアルト云フコトニナルノデゴザイマスカラ、元來此法律ノ精神ト致シマシテ、即チ砂鑛權ト認メルトコロノ砂鑛ナルモノハ、未ダ採掘セザル以前ハ國ノ所有デアルト云フコトナラナケレバナラズ、又土地ノ所有者ノ一部デアルト云フコトハ、無論言ヒ得ルコトハ出來ナイノデアル、是ハ政府委員ガ唯今明ニサウ御答ニナルノデゴザイマスガ、サウ云フ趣旨ニ解釋スルト、本案ハ根柢カラ壞レルト思ヒマス、果シテコレデ差支ナイト云フ御意見デゴザイマスカ、今一應御座メヲ置キタイ

○政府委員(磯部正春君) 砂鑛ハ明ニ法律ノ中ニ土地所有權ノ一部ヲナスト云フコトハ、無論書イテゴザイマセヌノデ、土地所有權ノ一部ニナツテ居ルマデ私ハ申上ケマセヌ、無論法律ニ依テ得タル砂鑛權ハ、出願人ノ獨立物權ニモナルト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマスガ、併シ何レニ入ルベキモノデアルカト云フタナラバ、ドウシテモ土地所有者ノ方ニ重キヲ置ク、土地所有權ノ一部ニ這入ッテ居ルモノデアルト云フ主義デナカッタラバ、砂鑛採收料ハ今日取レナイノデアル、ソレドウシテモ所有權ノ一部ヲ爲シタモノ

ト今日マデハ認メタト、斯ウ解釋セザルヲ得ナイト思ヒマス  
○豐増龍次郎君 即チ今日ノ現行法ハ御説明ノ通りデ、砂鑛採取法ハ物權トシテナイノデアル、土地ノ一部トシテアルカラハハ御説明ノ通りデアルケレドモ、本案ハ根柢ニ於テ一種ノ物權ナルモノヲ設定シテアル、前ノ採收料ノ規定ヲ根柢ヨリ打壞シテ、砂鑛權ナル權利ヲ新ニ設定シタノデアル、全ク砂鑛權ノ性質ガ違ツテ居ル、斯ウ見ナケレバナラマイト思フ

○政府委員(磯部正春君) 其點ニ就キマシテハ現行ト今度ト一向變リハナイ積リデ居リマス

○武漢義雄君 此採收料ト云フノハ、元ノ現行法デアルノデゴザイマスカ

○政府委員(磯部正春君) 左様デゴザイマス

○武漢義雄君 此改正案ニハ相當ノ補償金ト斯ウ書イテアルヤウデゴザイマスガ、此補償金ナルモノハ、採決シタ砂鑛ニ對スルコロノ補償ト云フ意味デハナカラウト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、土地ヲ使用スルカラシテ其土地使用ノタメニ損害ガ生ズルカラ、其損害ニ對スル補償金ト考ヘテ居ル、サウ云フ風ニ解釋シタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、サウデハナイノデアリマスカ

○政府委員(磯部正春君) ソレハ代價ニ加フルニ損害補償ト兩方ヲ含シテ居リマス

○武漢義雄君 モウ一度御尋致シマスガ、砂鑛ノコトデアル、砂鑛ハ地上ニ在ルモノト地中ニ在ルモノト、二種類アルダラウト思ッテ居ルノデアルガ、地下三尺以下トカ、又地中三尺以上トカ、所在ノ變ハルニ從ツテ此補償金ヲ與ヘルトカ與ヘナイトカ云フコトモ違ガ生ズルノデゴザイマセウカ、ソレハモウ總テ混同シテ、假令地中ニ在ルモノデモ又其上ニ在ルモノデモ、其砂鑛ニ對スル補償金ト云フノデアリマセウカ、地下三尺下ノモノナラバ其砂鑛ニ對スル補償金デハナイノデアッデ、ソレハ土地ヲ使用スルガ爲ニ生ズルコロノ損害ヲ補償スルト云フ意味ニ、唯單ニ解釋シテ宜イノデアリマスカ、ヤハリ砂鑛モ採ルカラ砂鑛ヲ採ル代價トシテ拂フト云フ意味ヲ持ッテ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(磯部正春君) ソレハ砂鑛ノ所在ノ淺イト深イトニ依テ區別ガナイ積リデゴザイマス、三尺ヨリ淺イ所ニアラウガ尙深イ所ニアラウガ、ソレハ區別ハナイ積リデゴザイマス、深イ所ノ砂鑛ヲ採ル場合ト極ク地表ニアル場合ト、採取料ニ於テ區別ハナイ積リデゴザイマス

○豐増龍次郎君 私ハ一二ノ質問ヲ更ニ提出致シマスガ、其前ニチヨット前回ノ速記録ガ非常ニ間違ッテ居ルカラ其點ヲ一應正シテ置キタイト思フ、ソレハ前回ノ速記録ノ中ニ本案十一條ニ就テ私が尋ネタコトガアル、其尋ネタル趣意竝ニ政府委員ノ御答ト云フモノガ、全ク違ッテ速記サレタアリマス、其他ニモ大分間違ガアルヤウデゴザイマスガ、是ハ主ナル間違デアルカラ特ニ正シテ置キタイト思フ、曩キノ速記録ニ依リマスルト云フト、此十一條ニ就テノ尋ハ砂鑛權ノ抹消ヲ願フ時分ニハドウカ云々、斯ウ云フコトガ書イテアル、抹消ト書イテアル、是ハ全ク間違デサウ云フ御尋ハ私ノ方デシナカッタ、斯ウ云フ御尋デアッタ、砂鑛權ニ對シテ抵當權ヲ設定シタ後、其砂鑛區ノ増區ヲ願フ時分ハ、其抵當權ハ増區ニモ及ブノデアルカドウカト云フコトヲ御尋シタノデアル、所ガ政府委員ノ方デハ、ツマリ増區ニモ及ブト云フ御答デアッタ、ソレガ前ノ速記ニ「抹消々々」トナツテ居リマス、其通りデ抹消



云フ採取地稅が掛ルコトニナツテ居リマス、其等地方稅ナドノ額ヲ制限スルタメニ設ケテアルノデアリマス

○委員長(大井ト新君) 大分質問モ濟ンダヤウデアリマスカラ……

○荒谷桂吉君 ドナタモ御質問ガナケレバ討論ニ移ル場合ト考ヘマスルガ、唯今豐増君ヤ武滿君カラ御質問ニナツテ居ル大體ノ主義ニ於テ、所有權ノ設定ニ對シテ大ニ考ヘベキコトガアラウト思ヒマスカラ、質問ハ若シ御止メニナツテモ討論ハ他日ニ譲ラル、カ、午後ニ於テ本會ノ許可ヲ得テ會ヲ開クカ、多少ソレニ熟考ノ時間ヲ與ヘラレンコトヲ私ハ希望致シマス

○委員長(大井ト新君) 如何デスカ

○豐増龍太郎君 少シ此條項ニ付テ多少修正ヲシテ見タイト思ヒマスカラ、成ルベク多クノ意見ヲ持ッタ人ガ皆御揃ヒニナツタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、私モ同意致シマス

○委員長(大井ト新君) ソシナラモウ質問ハ大抵無イヤウデスカ、午後ニ延バスコトニ致シマス、御差支ナイデスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(大井ト新君) ソレナラドウカ午後ニ開クコトニ致シマセウ

午前十一時三十八分休憩